

科目名	英語B（編入対策）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	1	前期・後期			
担当者名	内海 俊祐	関連する資格					
授業概要 大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。							
到達目標 大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。			成績評価方法 定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 編入試験問題（英語）の特徴について				think-pair-share			
2) 編入試験問題（英語）への対策について				think-pair-share			
3) どうしたら英語の能力が向上するかを考える				think-pair-share			
4) 様々な英語の楽しみ方				think-pair-share			
5) 英語習慣化の提言				think-pair-share			
6) 演習問題 1				think-pair-share			

7) 演習問題 2	think-pair-share
8) 演習問題 3	think-pair-share
9) 演習問題 4	think-pair-share
10) 演習問題 5	think-pair-share
11) 演習問題 6	think-pair-share
12) 演習問題 7	think-pair-share
13) 演習問題 8	think-pair-share
14) 演習問題 9	think-pair-share
15) まとめと今後の学習について	think-pair-share
授業外学習	
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。	英語 A
備考	
紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。	